



## 理事長就任にあたって

理事長 中川 日出男

7月に理事長に就任して約3ヶ月、この間、挨拶廻りや知人達との会合、また学院内で色々な意見に接してきた。挨拶時、一番多い言葉は「理事長就任、おめでとうございます。」これは、学院の現状を何も知らない人達。特に、高校の同級生達は「我々憧れの広島女学院の理事長就任は、めでたいことだ」と大いに祝福してくれる。

維持会問題への対応を知っている人は「おめでとうと言っていないでしようが、大変ですね。」

大学が定員割れを起こして、厳しい経営環境にあることを知っている人は「おめでとう」の言葉もなく、ただ、「大変ですね。頑張ってください。」の一言。130年にわたる歴史と伝統を誇る「広島女学院ブランド」はどうなるのか。先人達が汗と努力によって築きあげた女子教育の名門は消滅してしまうのか。卒業生達も不安を感じている。

歴史と伝統は存続して初めて価値がある。消滅してしまえば、過去の栄光に過ぎない。なぜ、このようなことになったのか、その原因の一つが、大学の学部改編であることは誰しも認めているところ。改編以来、4年続けて入学定員割れを起こしているのだから、弁明の余地はない。

少子化の時代、私学間競争が厳しい時の失敗はあまりにも痛手である。もはや、大学は存続できないのか。私は「否」と言いたい。130年にわたって、女子教育のパイオニアとして、広島で多くの人材を輩出してきた広島女学院ブランドは潰してはならない。再構築して、21世紀も引き続き輝き続ける広島女学院として存続をさせなければならぬと思っている。

確かに、少子化の時代で厳しい環境ではあるが、明るい材料もある。今、世の中は東京一極集中は正とということが官民あげて叫ばれている。

国は、地方創生担当大臣まで置いて、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画を造り、地方への人材還流、地方での人材育成、雇用対策など、地方の活性化施策を講じようとしている。大学も三大都市圏に学生が集中し、地方の小規模大学の多くが定員割れの状況にあるため、文部科学省と日本私立学校振興共済事業団は、私立大学の経常費補助金に係る入学定員基準について、三大都市圏に集中している大・中規模大学に厳しくして、「地方への人材還流、地方での人材育成」という地方創生策に資することとしている。

また、産業界では、少子化の影響で労働力不足になっており、女性の労働力の活用を図っている。国も女性の就業率を上げるべく、各種施策を講じている。つまり、地方で活躍する女性人材は社会が求めているのである。

このようなことを考えると、広島女学院大学の再構築にも少し明るさが見えるのではないだろうか。しかしながら、再構築といっても、一度減少傾向となった入学定員を元にもどすのは並大抵のことではない。教職員が心をついに一つにして、相当の覚悟をもって努力しなければならぬ。

130年にわたる歴史と伝統、女子教育の名門として光り輝いていた「広島女学院ブランド」の再生に向けて、一歩ずつでも前に進まなければならない。

教職員並びに卒業生の皆様のご協力をお願いしたい。



# 大学

## 平和文化の創造に向けて

2015年度春季宗教強調週間 5月11日(月)～15日(金)

今季宗教強調週間の特別講師は、本学客員教授で、平和運動家として世界的に知られるステイブ・リーパー先生をお迎えした。講話は、地球温暖化や海の酸性化により2048年には海中のすべての生物が死滅するというシヨッキングな予測から始まった。海の死はすなわち地球上の生物すべての死を意味する。いまずぐに私たちが競争や対立を基調とした「戦争文化」に背を向け、一致

して問題解決に向かう「平和文化」を生き始めるのでなければ、この悲劇的な予測は現実となってしまう。核廃絶は人類の平和文化への意識転換に必須かつ解決まで最短距離にあるはずの課題である。なぜなら人類と核は共存できないというのとは否定しようのない事実だからである。核廃絶それ自体は非常に困難な課題であるにせよ、人類が抱える他の諸課題に比べれば、まだ実現はたやすいと言え



何を残しうるのか、大学という学びの場に身を置くことを許された学生・教員ともどもに突き付けられている課題ではないか。木曜日チャペルでの湊晶子院長・学長先生による平和への熱い想いを込めた講話、そして特別チャペルでの管理栄養学科2年白井佳奈さんのインド・スタディキャンプの報告は、この問いに誠実に向き合う生き方の証しという点で一致していた。なお、宗教強調週間に食堂で特別提供される聖書にちなんだベジフル・メニューにも、学生による一層の工夫が見られた。(チャプレン 澤村 雅史)

る。なぜならそれは自然現象などではなく、私たちの意志ひとつにかかっている問題だからである。リーパー先生からこのようなメッセージをいただいた直後、しかし、世界の状況は深刻なほうへと動いてしまった。NPT再検討会議の事実上の決裂である。これから我々は何のような時代を生きていかなければならないのか、次の世代に

後史の中の広島女学院」と題し、ご講演いただいた。広島女学院の用務員でもあった河本一郎氏(広島折り鶴の会世話人として活動)が、ロベルト・ユング(ドイツの新聞記者らの著書で海外にまで取り上げられ、ドイツ国民の反核意識を高めたこと、1960年前後は広島顔であったこと、死後に膨大な資料が原爆資料館に保存されている事)を話された。

## 第49回原爆講座

### 8・6の意味するもの

7月7日(火)の「キリスト教の時間」は、NPS国際ボランティア理事長佐藤廣枝さんに被爆証言をいただいた。原爆投下直後、炎で燃える広島市内に入り母と行方不明の兄を探したこと。自らケロイドの残るやけどを負い、ついには現場の悲惨な状況から兄の捜索を断念、遺骨を拾い集めたことを話された。その後、



母から、「奇跡的に命ももらったのだから感謝をもって生きよう。」と諭され、平和公園清掃活動、平和の碑めぐりガイド、慰霊碑の献花など「祈る平和」から「創る平和」に向け、様々な平和活動へ取り組んだ体験を語られた。

翌週、7月14日(火)は、歴史学者・元本学教授の宇吹暁氏より、『ヒロシマ戦

また小倉桂子氏と節子・サーロー氏(非核特使やNPT再検討会議で活躍)の土屋時子氏(広島文学保全の会代表、原爆被災誌「夏雲」朗読劇指導)ら卒業生、メアリー・マクミラン(元本学

教授、キリスト教社会館等事業に尽力)、松本卓夫(被爆時の広島女学院院长)など多くの広島女学院関係者、クリスチャンの貢献が紹介された。



また、木曜日チャペルの中で国際教養学科植西浩一准教授の国語教育ゼミ3年生8名の学生による原爆詩朗読が披露された。力強い臨場感溢れる群読は原爆の悲惨さをリアルに伝えた。(宗教センター事務課長 坂野 康文)

## 2015年度オープンセミナー

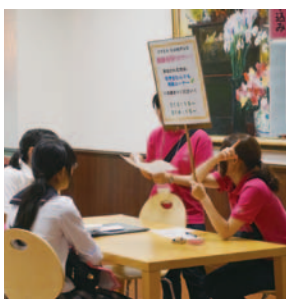
8月1日から国際教養学科、幼児教育心理学科、生活デザイン・建築学科でオープンセミナーが開講され多くの高校生の参加があった。最初の全体ガイダンスでは、入試課からの諸注意等を行い、受講生は緊張した面持ちで真剣に聞いていた。ガイダンスが進むにつれ、緊張もほぐれ笑顔が見られるようになった。いよいよ授業が始まるとみんな真剣に取り組み姿が印象的だった。ほんとうにみんな3日間または4日間の授業をがんばったと思う。「高校と大学の授業時間の



違いも体験できてよかった」「とっても楽しく大学の授業を受けることができたと生の高校生の意見をきくことができた。こうして、貴重な夏休みにも、本学の授業を受講し教育方針、授業内容を理解したうえで、一人でも多くの生徒が入学へと結びついてくれることを願っている。(入試課長 榎 良平)

## 2015年度オープンキャンパス

今年も夏のOCを5回行った。保護者の来場が多く、娘の進学に関心が高いことがうかがえた。保護者プログラムを午前と午後に分け、午前には学長講演、就職サポート体制の説明を行い、午後は学生課主導で、OGや保護者の協力を得て行った。新たに入試課員による入試説明会を設け多くの生徒が参加した。学科の模擬授業、展示も工夫を凝らし、高校生もよく質問していた。ランチ試食は管理栄養学科の学生考案のベジフルメ



ニューを提供、またタイムでは授業の一環で作ったベジフルクッキーを提供し大好評だった。学生スタッフも暑い中、明るく対応してくれている。学生と教職員が力を合わせたOCへの思いが来場者に伝わり、進路選択の参考になれば幸いである。(入試課長 榎 良平)

### 3 女子大学の女性学長による公開講演会 「女子教育のこれからと平和」

5月30日(土)に広島女学院大学公開講演会「女子教育のこれからと平和」がホテルグランヴィア広島において開催された。戦後70年の節目にあたる今年、被爆地である広島にキリスト教主義に立脚する3女子大学の女性学長が集い、明治以降において女子教育が果たしてきた役割を振り返るとともに、平和をつくり出すために女子大学として何をなすべきかをテーマとした講演とパネルディスカッションが行われた。

津田塾大学の國枝マリ学長は、創立者である津田梅子先生が明治初期に日本初の女子留学生として経験したアメリカでの先進的な教育をふまえて、日本女性が学問的な見識を高め、経済的に自立し、精神的に成長することで社会に貢献していくための女子教育をめざされたことを紹介され、女性が自ら考え、自ら行動する自信を持ち、社会における表象を総合的に理解し、批判し、判断する力を身につけることが平和につながる」と指摘された。

先生は「愛の力」を信じながら国際的視野に立った女子教育に貢献されたことについて紹介された。そして、女子大学が存在する意義について、隅谷三喜男先生の「女子大学の個性は、(理性)にたいする(感性)の重視」という言葉を引用されながら、これからは平和の実現のために女性の持つ力を生かすことが求められており、平和に貢献する女性の育成を担うことが重要であると述べられた。

東京女子大学の小野祥子学長は、初代学長の新渡戸稲造先生が国際人のパイオニアとして常に世界平和を希求され、生涯にわたって平和の実現に努力されたこと、第二代学長の安井てつ

受けた女子教育支援を途上国に返す時であり、「教育による平和」を実現することが女子教育のこれからに求められる使命であると述べられた。

本の近代を支えた女子教育の成り立ちには日本人男性により設立され、女性リーダーにバトンをタッチされたケースを含めて三つのパターンが存在し、いずれも「ぶれない個(人格)の確立」が教育の原点となること、女性の一生を視野に入れつつ世界に通用する教養を身につける教育が現代の女子大学に期待されていることを強調された。また今は、日本が近代化の際に



### 合同ピースセミナー開催

海外の姉妹校と本学の学生が平和についてともに学ぶ合同ピースセミナー(本学学生は平和学関連科目「Hiroshima Studies」)として受講が6月2日から8日まで本学で開催された。



今年度は、アメリカの姉妹校セント・エリザベス大学の4名に加え、新たな提携校アサンブション・カレッジ(フィリピン)から5名の学生を招いて充実したセミナーを行うことができた。今回のテーマは被爆70周

本学アイリス・インタナショナルハウスで、ネイティブ教員とティータームを楽しく過ごしながら、英語に親しむ催し、イングリッシュ・アイランドが6月17日にオープンした。緑の庭を眺めながら、友人のパーベキューパーティに招かれたような雰囲気の中で学生、教職員135人ほど集い、普段は言葉を交わす機会が少ないネイティブの先生や湊学長と楽しく歓談した。

年にちなみ「平和を次世代に引き継ぐ」とし、平和記念資料館や平和公園見学、被爆証言を聴き、ディスカッションで議論を深めた。

フェアウェルパーティ終了後、いつまでも会場を去ろうとしない学生たちの姿に、また新たな友情が育まれたことを実感した。



第2回7月22日も盛況に終わり、次回は10月を予定している。

国際教養学科教授 宮本 陽子

### 2015年度(第33回) 広島女学院大学公開セミナー テーマ「身近な情報科学」

- 第1回 10月3日(土) 「Internet of Things(IoT)時代におけるスマートフォン-携帯電話の安全な使い方」 国際教養学科教授 中田 美喜子
- 第2回 10月10日(土) 「情報のデジタル化の効用-暗号化の仕組み-」 国際教養学科教授 橋本 一夫
- 第3回 10月17日(土) 「色彩の情報力」 国際教養学科教授 西口 理恵子
- 第4回 10月24日(土) 「Internet of Things(IoT)革命がもたらすもの」 国際教養学科教授 篠原 収

### 2015年度 国際教養学科 公開講演会報告

演題 国際バカロレア(IBC)と日本の教育イノベーション

講師 本学客員教授 ノベーション 大迫 弘和

日時 2015年7月15日(水) 15:30~17:20

場所 ソフィア201教室



# 中学・高校

## 平和を祈る週

(6月15日～6月20日)

中学では8・6平和記念式で広島女学院原爆慰霊碑に捧げる千羽鶴作成、被爆前の平和公園にあった街を舞台にしたドラマ『広島・昭和20年8月6日』上映会、高校では生徒による核廃絶のプレゼンテーションなどが昼休みに行われました。また中高共にネパール地震被災者支援への募金活動に取り組みました。

土曜日の特別礼拝には、本校卒業生、塩治節子さんをお招きしました。

塩治さんは被爆当時、5歳で、爆心地から約1.7kmの段原町に住んでいました。原爆によって倒れた家のがれきの下からお母さんによって助け出され、比治山に避難しました。わずか5才だった塩治さんの目に焼きついた焼けただれた人々、キノコ雲、お母さん呼びつつ亡くなっていった女学生、それは死んでいった人たちが二度とこういうことがないようにと自分に送ったメッセージのような気がすると言われました。また、7年後、女学院中学校に入学した年に、元氣だった小学3年生の妹さんが突然亡くなり、原爆の後遺症ではないかというこ

とも当時は言えない状況だったそうです。

「毎日勉強ができる、戦争はそんなあたりまえを奪ってしまう。人生を全うできず命を半ばで絶たれてしまった人たちのことを忘れて、自分に与えられた時を一生懸命歩いてほしい。再び戦争にならないように私もがんばります」そう語って下さいました。



(宗教教育委員会)

## 8・6 平和記念礼拝

8月6日(木)13時30分よりゲインズホールで、本校生徒・教職員350余名を含む原爆犠牲者の追悼と平和を祈り、中1、中3、高2が礼拝を捧げました。被爆70周年ということで、多くの学外訪問者も列席されました。

礼拝では卒業生の山田玲子さん(日本被団協中央相談所委員長、東京都原爆被害者の会副会長)をお迎えし、次のような証しをいた

できました。

己斐国民学校4年生の時、集団疎開が始まり、4月に第一陣出発、8月9日に第二陣として出発予定だった。一番目と二番目の姉は軍需工場へ、三番目の姉は建物疎開に学徒動員されていたが、8月6日は、二番目と三番目の姉は休んで家にいた。集団疎開の説明のため8時に校庭に集合、男の子が「B29だ」と叫び、きれいだなど見上げた瞬間、真つ暗になり防空壕へ駆け込んだ。家が心配になり帰ってみると家の中

はがれきの山。夕方、父が血みどろになって帰ってきて、親戚の家に身を寄せた。二日目の夕方、広島駅で被爆した長姉が背中ひどいやけどを負って帰宅。数日後、あんなにたくさんあった遺体はきれいに片づけられて、学校の校庭で誰もわからないまま焼かれていた。

8月15日、予定より遅れて出発した疎開先で終戦を知った。その中には原爆で



家族を失った子どもたちもいた。いつも遊んでいた友

だちやその家族が原爆の犠牲になっていたと知り、「戦争ってこんなにひどいものだったのか」と初めて涙が出た。結婚を反対された人、子どもを産めなかった人、東京に出てきて一人で就職し、周りの人にも言えずに生きてきた人がたくさんいた。思想・信条・宗教、全てを越えて、一人の被爆者として、あのようなことが決して世界の誰の上にも起こらないように核兵器廃絶を訴え続けている。

話さなくては分かってもらえない。どんなに悲しいことか、どんなに人の命を粗末にするものなのか。若いみなさんも自分の問題として考えていただきたい。(宗教教育委員会)

刀祢館 美也子

## 中1オリエンテーション合宿

よりよい友人関係と自己肯定感の育成をねらい中1学年合宿が4月23日(木)・24日(金)に行われました。

初日は、ホールにて校母ゲインズ先生についてのお話を聞き、その後比治山にある先生の墓前で祈りの時をもちました。その後、グリーンピアせとうちに移動し、クラス毎に『同級生インタビュー』を行い、まだ話したことなかったクラ



この行事も6年目を迎え高校生リーダーの自主性や積極性に中2生徒が大きく成長させてもらえる行事となりました。

当日は雨の中のスタウトとなり生徒はもちろんのこと教員もどうなる事かと不安もありましたが、現地スタッフの方々をはじめ、高校生リーダーや中2自身が精一杯の知恵と工夫で乗りきってくれました。初日は雨が降る中、バスで水梨口に向いました。現地に着すると徐々に雨が上がり、予定していた三分の二の距離を無事に歩くことができました。最終的に天候により、途中からバスに乗る事になりましたが、「せっかく頑張ってきたから最後まで自分の足で歩きたかった」という中2の声を聞く

対抗長縄大会」をしました。上手にできたクラスもあれば、そうでないクラスもありましたが、クラスの皆で楽しい時をもつことができました。

この合宿を通して、周りの生徒達とうち分け、新たな学校生活を送る準備が整ったと思います。(中1学年主任 中野 ひかり)

## 中2チャレンジキャンプ

今年も芸北の豊かな自然の中で2泊3日のチャレンジキャンプを行いました。

生徒の感想からは、困難の中でも自然の豊かさへの

3日目はようやく天候が回復し、昨年は通れなかった三段滝も見ることができ、充実したプログラムになりました。

驚嘆、日頃の何気ない生活が家族に支えられていることへの感謝など、3日間で多くのことを体得したようです。それらの学びを糧に、中2後半の学校生活をさらに充実したものになるよう過ごしてもらいたいと願っています。

(中2学年主任 伊藤 望)

## SGH指定、2年目の取り組み

昨年度、文科省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)指定を受け、2年目の今年にはCritical Issues Forum(CIF)が幕を開けた。モントレー国際大学院主催で、毎年米国で開催されるが、被爆70年の今年は本校を会場として3日間、日米露の高校生30人が今回のテーマ「人道的アプローチ」に沿って研究成果を発表し、議論した。本校は会場を提供するだけでなく、碑めぐり等の関連行事の企画も行ない、参加者には大変好評を博し、フォーラム自体も核軍縮専門家か



らレベルの高さを絶賛された。

全校生徒が週に一度学習するPeace Studiesは従来の人権、平和教育カリキュラムを整理・統合したものである。これに新規海外研修を加えることにより、教室での座学から、現地での学びが可能となり、より大きなインパクトを与えるものとなっている。海外研修に参加できるのは一部の生徒ではあるが、その生徒が核となり、周りの生徒に良い影響を与えている。一方、教室の座学も従来の受け身の学びから、より能動的・主体的に関わる手法を取り入れ、アクティブラーニングを実践している。海外研修は春休み中にカンボジアと韓国研修を実施、今年度は更にミャンマー研修を計

画している。

核となる生徒育成をめざし、今年度は高1にGlobal Issues(GI)が開講し、選抜を経て30人が受講している。各軍縮専門家の米国人大学教員の授業を受け、TOEFL講座も受講し、夏休みは碑めぐりに取り組むなど、活発に活動中である。今年度は課外活動が更に充実している。碑めぐりは今年で33年目を迎え、国内外の来訪者に高校生の思いを伝えている。核廃絶のための署名活動は今年も酷暑のなか、他校生徒もまともに街頭に立ち、活動を行なった。実行委員会の生徒のうち4名が昨年に引き続き国際会議(NPT再検討会議 傍聴のため、ニューヨークの国連本部に派遣された。渡邊英徳准教授(首都大学東京 制作のヒロシマ・アーカイブ)には、被爆証言の収録という形で協力しているが、今年度は例年ないハイペースで収録を進めている。これら一連の活動は自治体からも高く評価され、国連軍縮会議の学生会議において高校生代表として高3の徳山実紅さんが意見発表をしたり、各国の国連軍縮大使に面会するなど、多くの貴重な機会を頂いた。

今年度第1回SGH研究発表会(8月22日)では生徒が昨年度の取り組みの成果を、教員は学校の取り組み

を発表し、他県等の参加者から大変好評であった。(グローバル教育推進部 高見 知伸)

## 夏期海外生活体験学習

7月25日から8月10日まで、中3生徒22名は、オーストラリア・メルボルン郊外のキルビントンスクールでのホームステイ研修に参加しました。

最初は英語づくりの環境に戸惑っていましたが、どんどん積極的に発言や質問ができるようになりました。また、日本語や音楽、演劇などの授業に参加させていただき、グループワークをしながら現地の学生と交流しました。8月6日には「Peace Day」として、広島・平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒たちは、日本で準備した資料をみせながら、原爆や女学院での平和活動、東日本大震災について英語で説明をしました。現地の生



徒たちはとても真剣に耳を傾けてくださいました。その後、ともに平和を祈りながら折鶴を折りました。2週間という短い間でしたが、生徒たちは英語力の向上だけでなく、積極的に行動することの大切さ、文化の異なる人とのコミュニケーションの取り方など、多くの事を学びました。(グローバル教育推進部 山崎 綾子)

## 中高合同文化祭のご案内

一般公開  
11月1日(日)  
9時45分～15時30分

文化祭では、日ごろのクラブ活動の成果や学校生活の様子を多くの方々に、楽しんでいただきたいと思います。ぜひご来場ください。(高校生徒会顧問 長谷川 史)



イメージキャラクター  
1年E組  
松永 麗愛



ポスター

1年B組 有馬 千渚美



## 女学院クリスマスのご案内

日時  
12月19日(土)  
午後6時～7時30分  
(5時30分開場)

場所  
中高ゲインズホール

内容  
クリスマス礼拝、牧師先生によるメッセージ、高校生による演劇、パイプオルガン、讃美歌、中学生によるハンドベル等

在校生・保護者・卒業生・中学受験希望者・市民の方々等、どなたでもご参加いただける公開クリスマス礼拝です。入場は無料ですが、席上で献金(国内外の施設・NGOなどへ寄付、額は自由)のご協力をお願いします。(宗教教育委員会)

## 生徒の活躍

◆中高マンドリン部

全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール 優秀賞

優秀賞

幼稚園

花の日礼拝

今年も子どもたちが、家庭からたくさんのお花を持ってきてくれました。色々なお花でいっぱいになった部屋で礼拝の時を持ちました。その後、年少組の子どもたちは幼稚園の方々へ、年長組・年中組の子どもたちは大学の職員の方々へ、日頃の感謝の気持ちを込めて花束とカードを届けに行きました。喜んで受け取って下さり、子どもたちもとても嬉しそうでした。美しく咲く花のように、子どもたちも神様やたくさんの方々との大きな愛の中で、笑顔の花をいっぱい咲かせることができますように。

(幼稚園 吉岡 千絃)



たくさんのお花、きれいだね!



神様いつも守ってくれてありがとう

おいしいね!

夏が近づき、だんだんと暑くなってきた6月、幼稚園でそうめん流しをしました。「早く、食べたいな。」流れてきたものを、全部取って食べるんだ。」と朝からやる気いっぱいな子ども、お箸を上手く使えないから、少ししか食べられないかもしれない。」と心配そうな子ども、様々な思いを抱えながら、いざ本番! そうめんが目の前を流れる度に歓声が沸き起こり、楽しい、美味しい時間となりました。大好きな友だちと食べる、そうめんの味は格別です。

(幼稚園 梅田 桃香)



つめたいそうめん流しで暑い夏も涼やかに

平和の祈り

戦後70年、今年もまた年長組の子どもたちが幼稚園のみんなの思いを胸に平和祈念公園へ足を運びました。平和について考えていると「友だちを大切にする」などの声が上がります。聖書の一節「隣人を愛しなさい」という言葉が思い浮かびました。それぞれの心に神様からのメッセージが届いていることを実感すると共に、子どもたちの無邪気な笑顔を見ていると、この笑顔がずっと続きます様にと願わずにはいられません。私たちには計り知ることのできない程の深い悲しみの中にあるお一人お一人のことを覚え、祈りを捧げます。

(幼稚園 桑原 ユミ)



原爆の子の像の前で祈りを捧げます



原爆ドームを目の前にする子どもたち

校勢概要 (2015.5.1現在)

◇専任職員数

Table with columns: 所属 (大学, 中高), 種別 (性別, 国籍, 人間), 計 (中学, 高校, 計), 幼稚園, 法人, 計. Rows for 教員計 and 職員計.

◇2015年度学生・生徒・園児在籍数 ( )内は内数で休学留学者数を表す。

Table with columns: 校部科, 学年, 1, 2, 3, 4, 小計, 計. Rows for various departments like 言語文化研究科, 人間生活学, etc.

◇財産目録

Table with columns: 一、基本財産, 1. 土地, 2. 建物, 3. 構築物, 4. 器具・校具・備品, 5. 図書, 6. 車両, 二、運用財産, 三、負債, 四、正味財産. Includes area and value.

◇2014年度財務三表

◇資金収支計算書

(単位 円)

Table with columns: 科目, 金額. Rows for 収入の部 (学生生徒等納付金収入, etc.) and 支出の部 (人件費支出, etc.).

◇消費収支計算書

(単位 円)

Table with columns: 科目, 金額. Rows for 収入の部 (学生生徒等納付金収入, etc.) and 支出の部 (人件費支出, etc.).

◇貸借対照表

(単位 円)

Table with columns: 科目, 金額. Rows for 固定資産 (固定資産, 有形固定資産, etc.), 流動資産, 負債, etc.

事務局

会議報告

5月定期評議員会

2015年5月26日10時から開催。

吉川評議員を議長に選任し、議事に入った。

選任事項として、まず任期満了に伴う新たな評議員として、学識経験者の区分では城氏、日本基督教団教師の区分では向井氏、父母の区分では谷川氏・森長氏・山下氏を選任した。続いて、評議員会推薦理事候補者として、福戸山氏を推薦することに決定。また、

退任の申し出があった原野監事の後任監事として利島保氏の選任に同意した。

諮問事項として、2014年度事業報告案、2014年度決算案、及び2015年度第一次補正予算案について承認した。また、理事・評議員・監事の選任内規の変更について承認した。

続いて、各校区からの学事報告、及び維持会問題について承認した。

2015年5月26日14時から開催。

まず、欠員となっている評議員会選出理事として福戸山氏を選任した。

審議事項として、2014年度事業報告書案、2014年度決算案、及び2015年度第一次補正予算案について承認した。また、理事・評議員・監事の選任内規の変更について承認した。

続いて、各校区からの学事報告、及び維持会問題について承認した。

2015年5月26日14時から開催。

まず、欠員となっている評議員会選出理事として福戸山氏を選任した。

審議事項として、2014年度事業報告書案、2014年度決算案、及び2015年度第一次補正予算案について承認した。また、理事・評議員・監事の選任内規の変更について承認した。

続いて、各校区からの学事報告、及び維持会問題について承認した。

2015年5月26日14時から開催。

まず、欠員となっている評議員会選出理事として福戸山氏を選任した。

審議事項として、2014年度事業報告書案、2014年度決算案、及び2015年度第一次補正予算案について承認した。また、理事・評議員・監事の選任内規の変更について承認した。

続いて、各校区からの学事報告、及び維持会問題について承認した。

2015年5月26日14時から開催。

度第一次補正予算案について承認した。また、渡辺和子記念基金規程の変更、昨年度内部監査報告、及び今年度内部監査計画、次期校長候補者選考委員を理事5名・教職員4名とすることなど、理事・評議員・監事の選任内規の変更、さらに教員の採用について承認した。

続いて、各校区からの学事報告、財務改善検討委員会の検討状況、管理職等の兼職の状況、また、退任の申し出があった原野監事の

後任監事として利島保氏を選任したことの報告があった。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告があり、続いて、次期校長選考委員会委員について、理事選出委員として「湊院長、細田常任理事、辻常任理事、城納理事、大矢理事」、教職員選出委員として「森永中学教頭、渡辺高校教頭、高梨教務部主任、川口事務長代行」とすること、理事長の

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

審議事項として、理事長の報酬算出の考え方について承認した。

続いて、職員の昇給について報告があった。

2015年7月21日14時から開催。

審議事項として、まず、維持会問題について、告発人代理人の砂本弁護士から刑事告発に関する説明と意向確認があり、7月27日付けで刑事告発することを承認した。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告があり、続いて、次期校長選考委員会委員について、理事選出委員として「湊院長、細田常任理事、辻常任理事、城納理事、大矢理事」、教職員選出委員として「森永中学教頭、渡辺高校教頭、高梨教務部主任、川口事務長代行」とすること、理事長の

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

審議事項として、理事長の報酬算出の考え方について承認した。

続いて、職員の昇給について報告があった。

2015年6月30日14時から開催。

審議事項として、まず、維持会問題について、告発人代理人の砂本弁護士から刑事告発に関する説明と意向確認があり、7月27日付けで刑事告発することを承認した。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告があり、続いて、次期校長選考委員会委員について、理事選出委員として「湊院長、細田常任理事、辻常任理事、城納理事、大矢理事」、教職員選出委員として「森永中学教頭、渡辺高校教頭、高梨教務部主任、川口事務長代行」とすること、理事長の

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

審議事項として、理事長の報酬算出の考え方について承認した。

続いて、職員の昇給について報告があった。

2015年7月21日14時から開催。

審議事項として、まず、維持会問題について、告発人代理人の砂本弁護士から刑事告発に関する説明と意向確認があり、7月27日付けで刑事告発することを承認した。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告があり、続いて、次期校長選考委員会委員について、理事選出委員として「湊院長、細田常任理事、辻常任理事、城納理事、大矢理事」、教職員選出委員として「森永中学教頭、渡辺高校教頭、高梨教務部主任、川口事務長代行」とすること、理事長の

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

審議事項として、理事長の報酬算出の考え方について承認した。

続いて、職員の昇給について報告があった。

2015年6月30日14時から開催。

審議事項として、まず、維持会問題について、告発人代理人の砂本弁護士から刑事告発に関する説明と意向確認があり、7月27日付けで刑事告発することを承認した。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告があり、続いて、次期校長選考委員会委員について、理事選出委員として「湊院長、細田常任理事、辻常任理事、城納理事、大矢理事」、教職員選出委員として「森永中学教頭、渡辺高校教頭、高梨教務部主任、川口事務長代行」とすること、理事長の

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

審議事項として、理事長の報酬算出の考え方について承認した。

続いて、職員の昇給について報告があった。

2015年6月30日14時から開催。

審議事項として、まず、維持会問題について、告発人代理人の砂本弁護士から刑事告発に関する説明と意向確認があり、7月27日付けで刑事告発することを承認した。

続いて、大学教員人事について、2015年度末で退職となる人間生活学部の専任教員1名は不補充とするが、特任教員2名については、教職免許や資格関連で必要なことから後任の採用手続きに入ることを承認した。

広島女学院

クリスマスコンサートメサイアのお知らせ

★今年度も広島女学院クリスマスコンサート「メサイア」を12月23日(水・祝)に開催します★

会場は中学・高等学校ゲーンズホール、開演は午後5時30分です。

ご家族お誘い合わせでご来場ください。

問い合わせ：法人事務局 総務課 電話 082-228-0380

報酬額、文部科学省からの「学校法人の会計処理等に関する調査」について報告があった。

広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲーンズ先生から直接薫陶をうけられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽瘁されました。

1988年にご召天。その後、私財は全額先生ご遺言により本学に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

一、本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。

二、留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。

●応募条件：本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者

●選考：本人申請により3月・9月に基金運営委員会を行います。詳細お問合せは、法人事務局総務課へ

082-228-10380

(院長 湊 晶子)

チャペル行事案内

広島女学院大学チャペルコンサート

～トランペットとパイプオルガンの調べ～



日時	10月31日(土) 開場13:30 開演14:00～
場所	広島女学院大学ゲーンズチャペル
演奏とお話	トランペット 村上 俊也 オルガン 玉理 照子



2015年度 (保護者会) 役員

大学協力会

(敬称略・順不同)

新会長 谷川 正芳
副会長 森長 京子
理事 徳丸 千夏
向井 英佳
橋本 和代
小西 美香
梶山 照子
中川 参
桐木 建始
波多野五三
山下 京子
澤村 雅史

教職員動静

8月31日受付分まで

百天 前田 文則様(旧中高教員)

田尾 艶子様
(田尾真理子図書課員(母室))

番倉 三郎様
(松田俊治財務課長兼会計課長(義父))

誕生
遥子ちゃん
(尾首涼子中高事務部事務職員(長女))

聡真君
(三浦芳子中高教員(長男))

華ちゃん
(Jamie Szuba 大学国際教養学部助教(次女))

奈月君
(Laura Kurotobi 大学国際教養学部助教(長男))

人事

選任
西嶋 佳弘 松尾 信孝
理事

評議員
岩崎 裕香 辻 学
細田 信行
(2015.4.1 ~ 2018.3.31)

寄附

8月31日受付分まで

廣島女学院のために
宮原 洋治様 100,000円

尾崎 八郎様 300,000円

小谷 久子様
神子澤 新八郎様
田村 秀子様
篠原 悦子様
西垣 二一様(連名) 30,000円

中高等教育充実のために
皆本 陽子様
塚本 有香様
星野 晴夫様
野中 理恵様
寺脇 幹雄様
川口 早香美様
福屋 利信様
前田 百合様 20,000円

大学教育充実のために
(株)アポアエンジニアリング様 1,000,000円

ゲインズ奨学金として
広島女学院同窓会様 800,000円

会場使用謝礼
関西学院同窓会様
広島県高等学校放送文化連盟様
50,000円

御礼(被爆ヴァイオリン)
広島女学院同窓会様 10,000円

一般
今石 牧子様 10,000円

現物寄附

管理栄養学科教員有志一同様
カトラリー一式 30set
スミスカップ有志様
ベンチ6台(テニスコート分)

片山 ヤス子様
日本画「プールサイドの
昼下がり」

真木 利江様
iPad Air 2
加納 美智子様
書籍「学陽書房 今日から
できる7歳までのシユタイ
ナー教育 加納美智子著」
100冊

日誌紗

4.1(水) 新任式・オリエンテーション
4.1(水) 公認会計士
監査(実査)
4.4(土) 大学院・
大学入学式
4.7(火) 中学校入学礼拝
4.7(火) 高等学校入学礼拝
4.9(木) 事務協議会
4.10(金) 公認会計士監査
4.10(金) 学院運営協議会
4.15(水) 常任理事会
4.16(木) 学院運営協議会
4.28(火) 中高体育大会
5.9(土) 事務協議会
5.14(木) 監事監査
5.20(水) 公認会計士監査
5.21(木) 学院運営協議会
5.21(木) 中高PTA総会
5.23(土) 大学協力会総会
5.23(土) 評議員会
5.26(火) 理事会
5.26(火) 公認会計士
会計監査
6.11(木) 事務協議会
6.18(木) 予算委員会

6.18(木) 学院運営協議会
6.25(木) 学院報委員会
7.9(木) 事務協議会
7.14(火) 財務改善
7.14(火) 検討委員会
7.16(木) 予算委員会
7.16(木) 学院人権問題
委員会
7.21(火) 理事会
8.4(火) 財務改善
検討委員会
8.6(木) 被爆70年
平和祈念式
9.15(火) 次期校長選考
委員会
9.15(火) 財務改善
検討委員会
9.15(火) 常任理事会
9.29(火) 理事会
10.1(木) 創立記念日

編集後記

暑かった夏がやっと過ぎたかと思えば、今度は、改革をめぐる様々な取り組みが待ったなしの状況です。

新入りですが、創立一三〇年に向けた栄えある女学院を目指して、皆さんと一緒に、微力を尽くしたいと思っています。
(法人事務局次長兼 総務課長 増田 茂伸)



2016年度 学生生徒 園児募集要項



大学

(〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1  
電話 082-228-0386(代) FAX 082-228-7815

募集人員 国際教養学部 国際教養学科 240名  
生活デザイン・建築学科 70名  
人間生活学部 管理栄養学科 70名  
幼児教育心理学科 90名

中学校

(〒730-0014) 広島市中区上鞆町11-32  
電話 082-228-4131 FAX 082-227-5376

2016年度入試概要

日程・区分	対象学科	出願期間			試験日	合格発表日	会場
		インターネット出願期間 入学検定料納入期限	出願書類郵送締切日	出願書類持参窓口受付日			
指定校制推薦入試	全学部全学科	2015年10月26日(月)～11月9日(月) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照	なし	2015年11月14日(土)	2015年11月19日(木)	本学
公募制推薦入試 A・B方式(専願) C方式(併願) 特芸方式(専願 幼児教育心理学科のみ)	国際教養学科	第1回 2015年10月26日(月)～11月10日(火) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		第1回 2015年11月15日(日)	第1回 2015年11月19日(木)	第1回 本学・福山・周南・松江・松山
	生活デザイン・建築学科 管理栄養学科(第1回のみ実施) 幼児教育心理学科(特芸方式は第1回のみ実施)	第2回 2015年11月26日(木)～12月8日(火) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		第2回 2015年12月12日(土)	第2回 2015年12月17日(木)	第2回 本学
特待生入試	全学部全学科	2016年1月5日(火)～1月22日(金) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		2016年1月30日(土)	2016年2月10日(水)	↓一般前期A日程と同じ
一般入試前期日程	全学部全学科	2016年1月5日(火)～1月22日(金) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		A日程 2016年1月30日(土) B日程 2016年1月31日(日) C日程 2016年2月2日(火)	2016年2月10日(水)	A日程 本学・福山・周南・岡山・松江・福岡・那覇 B日程 本学・福山・周南 C日程 本学
一般入試後期日程	全学部全学科	2016年2月17日(水)～3月1日(火) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		2016年3月6日(日)	2016年3月10日(木)	本学
大学入試センター試験利用入試 A日程	全学部全学科	2016年1月5日(火)～3月29日(金) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		2016年1月16-17日(土・日) 大学入試センター試験(本学独自の試験はありません)	2016年2月10日(水)	—
大学入試センター試験利用入試 B日程	全学部全学科	2016年2月17日(水)～3月1日(火) 午前11:00まで(出願登録) 午後3:00まで(納入)	HPを参照		2016年1月16-17日(土・日) 大学入試センター試験(本学独自の試験はありません)	2016年3月10日(木)	—
大学入試センター試験利用入試 C日程	全学部全学科	2016年3月16日(水)～3月22日(火) 午前11:00まで(出願登録) 正午まで(納入)	HPを参照		2016年1月16-17日(土・日) 大学入試センター試験(本学独自の試験はありません)	2016年3月24日(木)	—

★窓口受付指定日:9:00～16:30入試課窓口にて受け付けます。(ただし、大学入試センター利用入試C日程のみ、窓口受付指定日(3月22日)は9:00～12:00まで。)  
★全入試インターネット出願となります。  
※指定校推薦入試に関しては在学されている高等学校へお問い合わせください。  
※社会人、帰国生徒、外国人留学生特別入試および転入試・編入試に関する詳細は、入試課までお問い合わせください。



キリスト教精神に基づいた教育を目指して

募集人員 約200名(5学級)  
応募資格 2016年3月小学校卒業見込みの女子 出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は、他の手続あり。詳細は「2016年度生徒募集要項」を参照のこと。  
出願期間 2016年1月5日(火)より1月8日(金)  
出願方法 必要書類を出願期間中に広島女学院中学校あてに書留で郵送のこと。(当日消印有効)  
試験期日 2016年1月21日(木)  
選考の方法 (1)学科試験 (2)提出書類の審査 (3)面接による審査  
合格発表 2016年1月22日(金)  
願書請求 本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

ゲインズ幼稚園

(〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1  
電話 082-228-6635 FAX 082-224-3141

募集人員 3歳児 63名 4歳児 若干名  
願書受付 2015年10月1日(木)  
入園面接 2015年10月5日(月)  
入園手続 2015年10月8日(木)

大学院

言語文化研究科<博士前・後期課程>  
人間生活学研究科<修士課程>

募集人員 (男女共学) (春季分)

研究科	専攻	博士前期、修士課程	博士後期課程
言語文化	日本語文化	6名(秋季を含む)	3名
	英米言語文化	6名(秋季を含む)	3名
人間生活学	生活文化学	6名(秋季を含む)	
	生活科学	6名(秋季を含む)	

出願期日 2016年2月19日(金)～2月26日(金) 郵送必着  
試験期日 2016年3月4日(金)  
合格発表 2016年3月10日(木)

願書請求先 広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)  
URL:http://www.hju.ac.jp/ E-mail:nyushi@gaines.hju.ac.jp

